

生産した燃料を地域内で使いきることができず、都市部での需要拡大を期待しています。また、自動車交通の抑制、渋滞解消などの問題については、通過交通の問題などもあるため単独の自治体で取り組んでも解決できず、広域的な取り組みが求められます。

このような状況を踏まえて、多摩地域や多摩川流域など、地理的に隣接した環境（バイオリージョン）にある周辺自治体との地球温暖化防止行動を共に考えていきます。また、今後、本格的な温暖化防止行動に着手する自治体等に対しては、市内で得たノウハウ等を提供し、共に成長しあえるしくみを創出していきます。

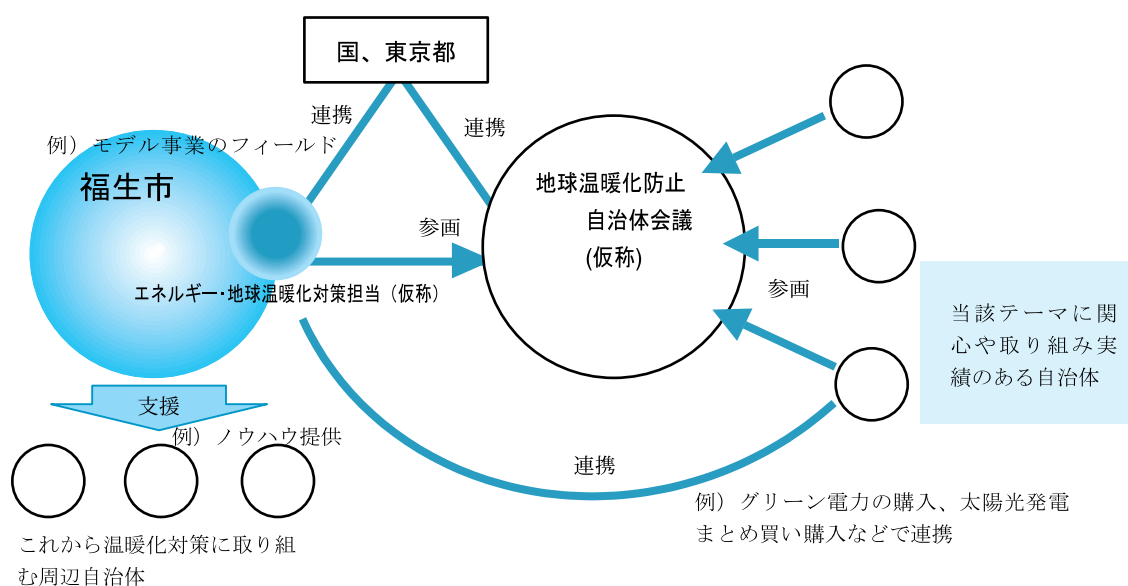


図8 他自治体、都、国との連携イメージ

3-2 市民の取り組み

市民には、下記のような役割が期待されます。

- 具体的指針・目標策定への参加
- 省エネルギー行動の実践
- 新エネルギー等の設備・機器の導入
- 情報交流、学習機会、連絡会議などへの参加
- 行政施策の評価、意見参加
- 地域エネルギー事業等への参画、関与

何と云っても、市民一人ひとりがこの問題を認識し、自らの生活や仕事の中で省エネルギーや新エネルギー導入などに取り組んでいくことが大切です。しかし、こうした